



兵庫支部NEWS H23年 5月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

平成23年度(第25回)北九州市立大学同窓会兵庫支部総会・懇親会 7月2日(土)午後4時半 於本館牡丹園、神戸元町

総会:16:30~17:10

支部活動報告、収支決算報告、規約改正等

講演会:17:20~18:20

講師:井上宏氏

関西大学名誉教授、日本笑い学会初代会長、大阪市出身

「笑いの力~笑って生き生き」「大阪の笑い」「大阪の文化と笑い」等著書多数。



懇親会:18:20~20:00

会費:6,000円(男女同額)

平成22年、23年卒業生会員は無料

参加申込:平成23年6月24日(金)

申込先:山田紘昭 Tel&Fax 0797-81-0842

gokusho27@jttk.zaq.ne.jp



JR元町駅東口海側へ下車、南へ(大丸方面)徒歩1分

その他の最寄り駅:阪神元町駅、地下鉄湾岸線旧居留地・大丸前

本館牡丹園:神戸市中央区元町通1丁目11-20

Tel.078-332-4588 Fax 078-392-3020

支部総会開催要領決定

講師に日本笑い学会初代会長

兵庫支部総会開催準備の為の役員会が、5月15日午後1時半兵庫勤労市民センターにて開催された。



出席者(後列左から):高山行雄(45米英)中村明人(41商)牛丸敏孝(51中国)福永憲彦(44商)平間正昭(37商)藤田博保(35商)名越英昭(37米英)二宮慶治郎(38米英)

(前列左から)浜田勝義(44米英)永翁正臣(41商)安徳信義(44商)山田紘昭(44商)松山仁(44商)以上13名

山田副支部長兼幹事長から、役員総数18名のうち出席者は11名、委任状提出4名で役員会は成立している旨報告があり、安徳支部長の挨拶の後レジュメに従って審議が進められた。

先ず、懸案となっていた講演者選出について、読売テレビでの上司で、現在関西大学名誉教授、日本笑い学会初代会長の井上宏氏を候補として、推薦者の大西敏氏(46国文)が特別出席して説明され、満場一致で決定した。

会費は男女ともに、6,000円とすることで

承認され、会場の本館牡丹園のパンフ出来上がり次第兵庫支部NEWS 5月号も同封し案内状を6月上旬に発送する事になる。又支部規約改正案を審議し、種々訂正を加えて総会提案案が作成され、記念写真撮影後午後5時散会となる。

支部運営協力金依頼の継続決定

昨年初めて実施された総会欠席者に対して支部運営協力金(一律1,000円)の依頼について、73名の方々からご協賛をいただいた。今年もお願いする事になり依頼状と振込用紙が総会案内状とともに送付される。振込先:郵便振替口座 00970-2-226491

加入者名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

月例会「三金会」に出席しませんか?

兵庫支部では毎月第3金曜日午後6時から、同窓生の輪を広げ、懇親を深める月例会「三金会」を開催している。会場は「本館牡丹園」で会費は飲み放題食べ放題で3,500円、女性は2,000円としている。

同窓生の皆様のご参加をお待ちしています。

右は4月三金

会の出席者達。

左から、安徳(44)

店主夫人、二宮(38)

平間(37)永翁(41)

大村(33)名越(37)



Badhai! The 25th general meeting of
The university of Kitakyushu Hyogo branch



Alumnus are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

兵庫支部の連敗脱出ならず

第16回兵庫・関西囲碁交流会開催

両支部による囲碁交流会は、平成15年2月に当時の兵庫支部「囲碁の会」会長故銭谷勘一郎氏（38米英）と関西支部「囲碁同好会」会長都留猛氏（32米英）の努力で発足し、毎年春と秋に開催され、今春で16回目を迎えた。

平成23年4月17日（日）午後1時から兵庫支部「囲碁の会」定例会場であり、「三金会」の定例会場でもある



（熱戦を繰り広げる囲碁交流会）

“本館牡丹園”3階において、関西支部から6人と兵庫支部から7人が参加して開催された。

過去15回の対戦成績は、ハンデ戦とはいえ高段者を揃える関西支部が、12勝3敗と圧倒的な強さを発揮しており、兵庫支部の巻き返しが期待される中、最終の2局を残して15勝15敗とイーブンとなり、もしや連敗脱出かと思われたが、結果は15勝17敗と今回も兵庫支部の敗退となり、通算成績は兵庫支部の3勝13敗となった。

当日の対戦成績は下記の通り。

第16回兵庫・関西囲碁交流会 H23.04.17

関西	茨木	藤本	長谷部	徳丸	小葉竹	都留	
兵庫	7段	7段	5段	5段	4段	3段	
大岡7段	○	X		○		○	3勝1敗
平間3段	○	○	○			X	3勝1敗
山本2段		X	○	○	X	X	2勝3敗
名越2級	X		X		X	X	0勝4敗
赤松3級	○	○	○	○	X		4勝1敗
前原3級	X	○	○	X		X	2勝3敗
安徳4級		X	○	X	X	X	1勝4敗

兵庫支部：15勝17敗

通算成績：3勝13敗(団体戦)140勝198敗2分(個人戦)

大会終了後は1階に移動して、美味しい中華料理と紹興酒と対局の反省と、和やかで楽しい懇親会を過ごした。次回の秋の大会は大阪梅田の日本棋院関西総本部に於いて開催予定である。



参加者

関西支部：会長都留猛3段(32米英) 茨木幹夫7段(34米英) 藤本隆夫7段(47経済) 長谷部新5段(35商) 徳丸寛5段(37商) 小葉竹英樹4段(40商)
 兵庫支部：会長平間正昭3段(37商) 大岡一成7段(会友) 山本信司2段(37米英) 名越英昭2級(37米英) 赤松初夫3級(40米英) 前原賢作3級(40商) 安徳信義4級(44商)

関西支部総会は6月19日(日)

於新大阪ワシントンホテルプラザ2階

関西支部は、大道久美子新支部長(45英文) 御堂隆輝新幹事長(47経済)の新体制の下、6月19日(日)午前11時から支部総会及び講演会、正午から午後3時まで懇親会を新大阪ワシントンホテルプラザ2階で開催する。

講師に、北九州市立大学教授で、硬式野球部監督の徳永政夫先生を迎え「北九大の魂」と題して講演が予定されている。また懇親会では中国琵琶演奏家エンキさんの演奏を予定している。

会費は男性8,000円、女性7,000円、夫婦同伴の場合14,000円とし、平成22年・23年卒業生は無料招待。

参加申し込みは5月31日まで下記へ

鈴木哲事務所：Tel. 06-6955-1488 Fax. 06-6955-1489
 info@kitakyu-dousoukaikansai.com

九州六大学野球春季リーグ戦

北九大は最終週で九大と3位争い

4月13日(土)から始まった九州六大学野球は、優勝候補一番手の九国大が九州大に初戦で敗れる波乱の幕開けで始まったが、第4週を終わって九国大と福岡大が優勝戦に残り、北九大は優勝戦線から離脱してしまった。

奇しくも最終週の5月21日(土)22日(日)では福岡大と九国大が優勝をかけて対戦し、北九大と九大は勝った方が3位、そして5位をかけて西南大と久留米大が対戦する事になった。

第4週までの戦績は下記の通り。

平成23年度九州六大学野球春季リーグ戦成績表(第4週迄)

	九国大	福岡大	北九大	九 大	西南大	久 大	勝	負
九国大			○5-2 ●5-6	●1-5 ○17-1	○3-1 ○3-2	○10-7 ○5-0	6	2
福岡大			○1-0 ●2-8	●2-3 ○2-1	○6-1 ○5-2	○2-0 ○5-2	6	2
北九大	●2-5 ○6-5	●0-1 ○8-2			○2-0 △1-1	●2-4 ○5-0	4	3 1分
九 大	○5-1 ●1-17	○3-2 ●1-2			●2-9 ●0-1	○7-2 ○3-2	4	4
西南大	●1-3 ●2-3	●1-6 ●2-5	●0-2 △1-1	○9-2 ○1-0			2	5 1分
久 大	●7-10 ●0-5	●0-2 ●2-5	○4-2 ●0-5	●2-7 ●2-3			1	7

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

J R元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～

会費：3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～

参加費：無料、ドリンク/500円



熊野街道を歩く

— 第10回 —

JR布施屋駅から伊太祁曾駅まで

川端王子(29)→和佐王子(30)→平緒王子(31)

好天の続いた連休の最中の5月5日(木)午前7時過ぎに自宅を出て、阪神なんば線、JR紀州路快速そして和歌山線に乗り継いでスタート予定のJR布施屋駅(お沖)に到着した時は11時を過ぎていた。降りた電車を見るとボディペイントされ、柿本人麻呂や穂積皇子などの和歌が表示されていた。電車は万葉の里奈良行だからだろう。

布施屋駅前回辿った「布施屋自治会館」前まで、そこから道標に従って歩く。和佐歴史研究会による案内板が民家の塀や電柱など至る所にあり、そして要所要所には導き石が嵌め込まれウォーカーにとても親切な町である。



(川端王子跡)

まず最初に訪れたのは川端王子跡だ。三叉路の三角点に小さな祠とお馴染みのブルーの説明板と石碑が鎮座していた。藤原定家等の日記になく、江戸時代初頭に川端に王子社があったらしいと。現在は高積神社に合祀されていると。そこから左側の道を車がすれ違えない様な細い道を進み、丁字路で小栗橋右へ70mとの案内板。ネットでは大阪ら二つ目の小栗橋と説明されていたが、気付かず通り過ぎ、引き返して確認。

道路脇には小栗橋の説明板があったのに見過ごしたらしい。かつて小栗判官と照手姫が通った橋で、川端王子はこの辺りにあったのではと推定されている。



そこから和佐王子跡を目指して南進する。田園地帯を通り抜け、閑静な住宅街を歩いていると側溝というか道の脇の小川には30cm位の鯉が悠々と泳いでいた。

(側溝には鯉が泳いで) やがて高積神社へと左折して、緩やかな坂道を上る。明治43年(1910)旧和佐村内に点在の神社が合祀されたとのことで、その中の一つが川端王子社なのだろう。



(高積神社)

まずは道中の無事を祈願し直ぐ近くの歎喜寺に立ち寄る。鎌倉時代から南北朝に掛けて熊野古道に近接する為接待所を設けていたようだ。そこから再び古道に戻ると大きな屋敷が目の前に見えて来た。旧中筋家住宅である。紀ノ川流域随一の



(旧中筋家住宅表門)

大規模民家で、江戸時代末期の和佐組大庄屋の建物で主屋のほか表門、長屋門、北蔵、内蔵、御成門等の付属建物が国重要文化財に指定されている。観賞料300円で中に入ると、先ず嫁入り駕籠が日に入る。数個のかまどが並ぶ台所、表座敷に大広間と廻り、日に付いたのが来客用鉄砲風呂(写真右)である。



金属製の筒に保温の為の炭火を入れ、筒に触れないように背中に仕切板を設けたもの。初めて見る風呂桶である。

古道に戻り南へ500mばかり行くと和佐王子跡の広場がある。かつてはミカン畑の片隅にあったらしいのだが、余りにも整備され古道らしい雰囲気なし。でも丁度昼食を取りたいと思っていたので(和佐王子跡の広場)利用させて戴いた。和佐王子社は高積神社に合祀されているようだ。この広場から200mばかりの所に和佐大八郎の墓があると言うので行って見た。三十三間堂の通し屋で、一昼夜で13,053本を射ち8,133本を通し日本一となり300石を賜ったとのこと。



やがて矢田峠に向う。ネットの紹介記事では、途中3回もへたり込んだと書いてあるので覚悟して向かったのだが、上り始めて10分不足らずで途中休むこともなく峠に到着した。少々拍子抜け。下り始めるとすぐガードレールに熊野古道→と右折するようになっている。和歌



山県の案内図では直進だが、右折の方が近そうなので道標に従う事にした。長い下り坂を下りて里に出ると道路の傍らにタケノコの無人販売所があり2~3本が500円だった。住宅街に入っすぐ平尾自治会館の前にある平緒王子跡に到着。平尾王子とも書かれていると。秀吉の紀州攻めで衰退し、その後再建され平緒王子社と呼ばれ



明治時代に都麻津比売神社(ツマツメ)に合祀されたとのこと。後で、地図をよく見ると僅か200m位の所にその神社はある。

そこからどんどん南進し小栗橋を渡り、和歌山電鉄貴志川線の踏切を越えて、伊太祁曾(イタヱ)神社を目指す。

紀伊国一之宮である伊太祁曾神社の祭神は須佐男命の御子五十猛命(イタケ)と妹神大屋津比売命(オヤツメ)妹神都麻津比売(ツマツメ)であり、五十猛命は木の神様で紀州(木の国)の祖神として(伊太祁曾神社社殿)崇められている。伊太祁曾神社から約300mでゴールの伊太祁曾駅に到着した。



(伊太祁曾神社社殿)

和歌山から貴志まで14.3kmを結ぶ和歌山電鉄貴志川線は、猫の「たま駅長」で知られている。伊太祁曾駅は中間の主要駅らしく駅員も数名いた。(後日の調査で本社所在地と判明)



たま電車、おもちゃ電車、いちご電車等を走らせており乗車したのはおもちゃ電車。車内にはおもちゃが一杯、子供連れで賑っていた。次回はたま電車に乗りたくない!



「歩こう会」4月例会

「しあわせの村」で花見とフリスビー遠投大会

4月第2日曜日の10日「歩こう会」4月例会が開催された。当初昨年12月に歩いた京都一周トレイル東山コースの残り部分を歩く予定だったが、やはり例年通り花見をとの声で、急遽変更し「しあわせの村」での花見が計画された。

地下鉄名谷駅から約7kmを歩いて花見会場のしあわせの村を目指す。案内は地元在住の編集子だ。本日の参加者は17名うち8名はバスで途中まで行くことになる。

(出発待ちのウォーク組)

地下鉄名谷駅から約7kmを歩いて花見会場のしあわせの村を目指す。案内は地元在住の編集子だ。本日の参加者は17名うち8名はバスで途中まで行くことになる。残った9名でウォーキング開始。駅前の陸橋を渡ると満開の桜を眺めながら落合公園へ。少し上り坂の公園内の道を北上し松尾公園の展望台へと向かい、そこで名谷団地を一望しながら小休憩。展望台から下りて松尾公園緑地沿いの満開の桜並木道を北上し、山麓バイパスにかかる橋を渡り、団地の北端に突き当たる。その上の水道局の配水場へ上って行くと団地の向こうに須磨旗振山おらが山そして須磨アルプスのある横尾山等が眺望できる。そこから百ほど山道を歩き、再び住宅街へ、右折・左折しながら下って行くと、市バス終点の白川台だ。ここまで約1時間だ。バス乗車組の8人はここからウォーキングで、30分以上先行して歩いて行ったことだろう。

(桜並木の下をゆっくりと)

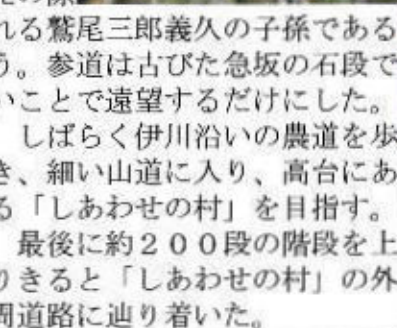
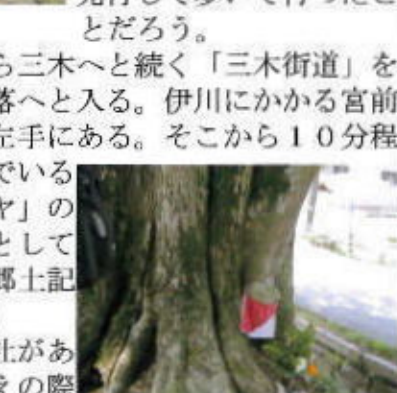
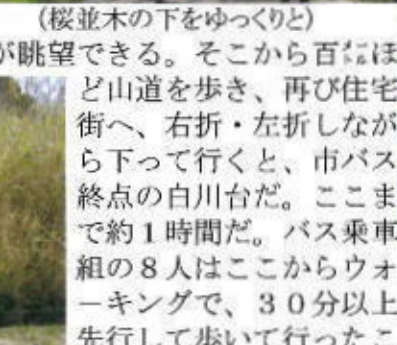
バス停を過ぎ板宿から三木へと続く「三木街道」を横切って旧白川村の集落へと入る。伊川にかかる宮前橋を渡ると大歳神社が左手にある。そこから10分程で根元に石を抱き込んでるので「白川の石抱きカヤ」の愛称で親しまれ、カヤとしては県内第8位の巨木の郷土記念物がある。(写真右)

(配水場から山道に)

この近くに山伏山神社がある。義経のひよどり越えの際道案内をしたと伝えられる鷲尾三郎義久の子孫である鷲尾家の氏神様だという。参道は古びた急坂の石段で手摺もなく少々危険といことで遠望するだけにした。しばらく伊川沿いの農道を歩き、細い山道に入り、高台にある「しあわせの村」を目指す。最後に約200段の階段を上りきると「しあわせの村」の外周道路に辿り着いた。

(配水場から山道に)

最後に約200段の階段を上りきると「しあわせの村」の外周道路に辿り着いた。



そこから花見を予定している芝生広場まで約300m先着したバス組の女性陣が花見席を確保してくれていた。ここでも桜は満開の見頃であった。

近所に住む牛丸氏の飛び入り初参加があり、各自持参のシートを敷いて車座になり宴会の準備。まず東日本大震災の犠牲者を悼み黙祷し、宴会が(満開の桜花の下で花見の宴)始まった。二宮会長が持参のラジオで、支部総会で披露されたことがある黒龍昇の唄「阪神淡路大震災の唄“魂”」を流し当時を偲び、カラオケテープが流されると隣に陣取った姫路からのグループが反応し、若い女性がマイクを握りカラオケを披露する等大いに盛り上がった。



(車座になって花見の宴) (隣席から飛入り) 約3時間の宴の後、飛び入りの姉ちゃんも一緒になって記念写真を撮影。



(後列左から二宮、岡本、元田、牛丸、飛入り、山浦夫人、立川母、佐野角田母、吉原、松山夫人、伊藤、松山、安徳、前列左から名越、飛入り角田、山浦、立川、高須 以上20名)

満腹になったところで腹ごなしのフリスビー遠投大会をすることになる。芝生広場はとても広いのだが、子供や家族連れのカッチボールやバトミントンなどで賑わっており、別の場所へ移動。先月の修法ヶ原での経験を生かして皆さん奮闘し、結局安徳支部長が見事優勝を飾った。



(優勝の安徳氏) (二宮氏) (元田氏) (松山氏)

フリスビーを楽しんだ後、バスでそれぞれの帰路についた。しあわせの村からのバスは三宮駅、神戸駅、新長田駅、名谷駅そして西鈴蘭台駅行と多方面に運行されており便利である。